

バーバパパ 55周年 × 国立工芸館移転開館5周年 想いをぎゅっと やきもののワークショップ 開催決定！



© 2025 Alice Taylor & Thomas Taylor ALL RIGHTS RESERVED



十一代大樋長左衛門（年雄）《大樋窯変祭器「尊崇」》2023年 大樋美術館蔵 ©大樋美術館

開催日時： 2025年8月10日（日） 午前10：00 ～ 午後12：30

会場： 国立工芸館多目的室
（石川県金沢市出羽町3-2）

対象： 小学生 30名

参加費： 無料

※協賛をいただき特別に無料となりました！

参加方法： 事前申込み・応募多数の場合は抽選

主催： 国立工芸館、国立アトリサーチセンター

協賛： 株式会社スタイリングライフ・ホールディングス プラザスタイル カンパニー

特別協力： 大樋美術館

参加者
募集中！

掲載用問い合わせ先：050-5541-8600（ハローダイヤル）

豊かな土味を体感しながら 「だれかを想う」かたちに挑戦

概要

国立工芸館では、1970年にフランスで絵本が登場して以来、どんな形にも変身できるキャラクターとして親しまれてきたバーバパパの55周年、そして国立工芸館の移転開館5周年を記念し、「想いをぎゅっと やきものワークショップ」を開催します。本企画は、可塑性が高く、手のなかでうごめく土のテクスチャーから生まれるやきものの造形が、バーバパパファミリーのフォルムと共通した性質をもつことに着目したところから始まりました。講師には、陶芸家で今年日本藝術院会員に就任された十一代大樋長左衛門(年雄)さんをお迎えします。

今回のワークショップは、2つの作品をつくるお楽しみをご用意しました。最初はうつわ。参加者自身の日々の暮らしからイメージする大きさやかたちを土のなかでつかみ取ります。次は、大切な人への想いをこめて自由な造形に挑戦します。丸まる、伸びる、くっつきはなれ、へこみふくらむ…変身が得意なバーバパパのしなやかなボディ同様に、変幻自在の可能性をもった陶土は、つくる人の個性や気持ちを受け止めて、ユニークな姿をあらわすことでしょう。この夏の工芸館でのひとときが、子どもたちの明日に豊かな実りをもたらすことを期待しています。

本イベントで目指すこと

- ▶ 身近な素材で感覚を開き、工芸ならではのかたちを通して日々を慈しむ心を養う
- ▶ クリエイトによる充足で自己肯定感を高め、参加者同士の交流から共感や多様性への意識を呼び起こす
- ▶ 特別な体験を日常に持ち帰り、家族や友だちとのコミュニケーションを深める

講師紹介

十一代 大樋長左衛門(年雄)氏

江戸時代から続く茶陶の大樋窯十代大樋長左衛門(文化勲章受章者・日本藝術院会員)の長男として、1958年金沢に生まれる。1985年にボストンユニバシティ大学院修士課程修了。2016年に十一代 大樋長左衛門襲名。2025年に日本藝術院会員就任。トヨタショールーム、ミラノサローネでのデザイン参画など大樋焼の伝統を継承しながら、美術家、デザイナーとして国内外で多岐にわたり活動。金沢大学客員教授、グッドデザイン賞受賞(経済産業省)、ハンガリー国家勲章受章、恩賜賞・日本藝術院賞受賞。



No. 1 十一代大樋長左衛門(年雄)
《大樋転生茶盃》2024年
ばんせいコレクション蔵
©大樋美術館



No. 2 十一代大樋長左衛門(年雄)
《大樋窯変祭器「尊崇」》
2023年 大樋美術館蔵
©大樋美術館



No. 3 十一代大樋長左衛門(年雄)
《モニュメント・クリフ》
2022年 大樋美術館蔵
©大樋美術館

No. 4 十一代大樋長左衛門(年雄)氏
©大樋美術館

上記画像No.1~4を広報用にご提供いたします。
ご希望の方は当館ホームページの画像提供システムよりお申し込みください。
<https://www.momat.go.jp/craft-museum/reproduction>



イベント参加方法



Peatix内特設ページ

Peatix(イベント・コミュニティプラットフォーム)内の特設ページからお申込みください。
締切は7月8日(火)。ご応募多数の場合は抽選です。

※参加対象は小学生のお子さんのみ。お迎えの際には保護者の方もご入室いただけます。力作の焼成前の姿をぜひともご覧ください。
※ワークショップでは陶土での造形に挑戦。後日、大樋長左衛門氏の工房で施釉・焼成した完成品を国立工芸館にてお渡しします。

